自動車運転評価モデル事業実施状況

資料５

１．事業実施目的

高次脳機能障がい者自動車運転評価モデル事業は既に自動車運転免許証を取得している高次脳機能障がいの方が、安全に運転を再開できるかを考えていただくとともに、大阪府公安委員会（運転免許試験場適性試験係適性相談コーナー）に提出するための診断書を取得することを目的とし、医師による診察、神経心理学的検査、自動車学校での運転技能評価などを実施している。

２．実施状況

　１）事業開始時期　　　平成26年9月

　２）事業参加人数　　　112名（平成26年9月～令和2年3月31日時点）

　３）相談窓口 大阪府障がい者自立相談支援センター　　46名

堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター　　66名

４）実施状況表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | \*R2.3末までに事業を受け付けた人のR2.4月末時点の状況 | | | | | | |
| 主な  運転目的 | 人数 | 年代 | | 継　続　中 | 事業中止 | 医師診断書  結果 | 公安委員会の結果 | 公安委員会における判断  概ね1年後の運転  の有無※ | |
| 運転して  いる | 運転して  いない |
| 仕事 | 45名 | 10～30代：5名  40～50代：31名  60～80代：9名 | | 0名 | STEP1：4名（本人・家族の申し出による）  STEP2：1名（医師の判断による）  STEP3：2名（神経心理学的検査の結果による）  STEP4：2名（実車評価による） | ○：35名  ×：　1名 | ○：35名  ×：1名 | 11名 | 5名 |
| 通勤 | 14名 | 10～30代：2名  40～50代：9名  60～80代：3名 | | 2名 | STEP4：1名（実車評価による） | ○：11名 | ○：11名 | 4名 | 0名 |
| 日常  生活 | 53名 | 10～30代：8名  40～50代：32名  60～80代：13名 | | 3名 | STEP1：3名（本人・家族の申し出による）  STEP3：2名（神経心理学的検査の結果による）  STEP4：10名（実車評価による） | ○：35名 | ○：35名 | 9名 | 4名 |
| 合計 | 112名 | 10～30代：15名  40～50代：72名  60～80代：25名 | | 5名 | STEP1：7名  STEP2：1名  STEP3：4名  STEP４：13名 | ○：81名  ×：　1名 | ○：81名  ×：1名 | 24名 | 9名 |
|  | | | ※大阪府障がい者自立相談支援センターが相談窓口となった事例のみ | | | | | | |

５）その他

　・この事業は、現在、高次脳機能障がい支援拠点機関を中心に実施しているが、平成30年度より、身近な地域で大阪府公安委員会に提出する診断書（様式７：脳卒中用）の作成ができるよう、医療機関、自動車教習所に協力を打診した。令和元年度は、平成30年度までの自動車学校に加えて、協力を打診した自動車教習所にて２件の実車評価が実施された。また、上記の件数には含まれていないが、モデル事業の一連の流れが、地域の協力病院で、１件実施された。